

「先輩」のイメージ

情報工学科 4年 藤戸 奈緒美

少し前に、入学した時に会った先輩に憧れ尊敬し、その先輩のようになると奮闘しながら3年間を過ごす女子高生の事を描いた小説を読みました。題名は覚えていないのですが、話の内容はしっかりと頭に焼き付いています。その話の中に何箇所も共感できる部分があったからです。入学してから学校に慣れるまでの数ヶ月間に得た先輩に対するイメージというのはなかなか消し去れないと思います。

私は入学したばかりの頃、私服を着ている4・5年生の先輩を見て「うわぁ～大人や～！」とっていました。部活でお世話になっていた先輩方も、自分と比べると本当に大人っぽい気がして「やっぱり19歳とか20歳って雰囲気違う！」と友人と話した事もあります。中学生の頃は高校生が。小学生の頃は中学生がものすごく大人な存在に思えて、いつか私もあんなふうになるのかなぁ...など感じていました。

しかしいざ自分が4年生になってみると、1年生の頃抱いていた「上級生」のイメージとは程遠いように思います。確かに服の趣味や読む雑誌、勉強の仕方、友達と話す事など変化した物はたくさんありますが、何かが私の抱いている「4・5年生の先輩」のイメージとは違うのです。学年があがるにつれて後輩がどんどん増え、先輩と呼ばれる回数も増えました。でもやはりいつまでたってもなかなか大人というイメージに近づいたような気がしません。私がこう思っているだけで、後輩から見るとこんな私でも「大人な先輩」なのかもしれません。

年上の人と接する機会がある度に、やはり自分の未熟さを感じます。こんなことは当然と言えば当然かもしれません。しかしどうしても「あの頃先輩はもっと大人でしっかりした感じやったのになぁ。」とってしまいます。

先日卒業した先輩と電話で話をした時にこの事を話すと、昔は同じような事を思っていたし、今もそう。先輩なんかそんなもの。大人なんじゃなくて騒ぐ元気がないだけやし余裕があるんじゃないかって必死なのがバレないだけ。自分がなってみてよく分かったやろ？という内容の事を言われました。確かにその通りだと思います。憧れていた「大人」のイメージとは裏腹に、実際なってみると自分ではそんな事はちっとも感じられない。確かに成長しているとは思いますが、いつまでたっても1年生の頃に見てきた先輩の雰囲気には近づけない気がします。

後輩達も私と同じ学年になった頃、私達に対してのイメージと自分とを比べて、同じような事を考えるのでしょうか？そう思うとなんだか複雑な気分になります。